

「NGO との戦略的連携に向けた 5 ヶ年計画」の進捗状況について
(自民党国際 NGO に関する小委員会からの「ODA と NGO の連携強化に関する政策提言に
ついて」に関連して)

【議題提案の背景】

平成 19 年度の委員会において「NGO との戦略的連携に向けた 5 ヶ年計画」が提案されているが、その実施状況及び成果についてご報告いただきたい。紹介いただいた実際の計画内容の一部は実行され、それなりの効果を表していると思われるが、必ずしも十分ではないと思われるものもある。特に NGO 参加型事業の拡充を目指した活動については、逆にその参加が制限される方向にあるものも見られる。例えば、計画されていた JICA の提案型プロジェクトの拡充の中では、草の根技術協力事業においては、20 年度採択分は当該年度に実施されず、また、アフリカ・アフガン案件の随時受け付け・随時審査がなくなるなど、窓口が狭まっていると感じられる。その他の事業においても、必ずしも飛躍的に NGO の参加が拡充しているとは思われない。そのため「今後 5 年間で NGO 参加型事業を飛躍的に増」という目的のためには、更なる努力と工夫が必要である。

一方で、平成 17 年 7 月に自民党の上記小委員会からでていた 12 の政策提言は、検討され実施に至っているものもあるが一部に過ぎない。特に下記の項目に関しては、現状の NGO の活動を拡充するためにも、早急に実行に移していただきたい内容である。

- ① 3-5 年のわたるプロジェクト・サイクルを基準とした複数年の支援
- ② 管理費への支援、人件費への支援、定率支援の実施
- ③ 技術料等の加算による、NGO、JICA 専門家、コンサルタント間の人件費の格差是正
- ④ 事前審査、事後調査への支援の実施
- ⑤ 外務省担当官の支援強化のための確保・育成

【議題論点】

メインのテーマは、NGO 参加型事業が飛躍的に増加しているのか、その実績を確認する。また、そのために NGO の参加型事業を拡充するといっているが、本当にそれが実施されているのか？また、制度の見直しがどの程度進んだかの検証が必要。NGO 能力開発分野では、実施状況とその効果についても確認する必要がある。

また、今年度も含めた残り 4 年間の計画も紹介していただきたい。上記の自民党小委員会の提言に関しても見解をいただくとともに、それに対する要望を述べたい。